

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
キタキチョウ	シロチョウ科	表も裏も真っ黄色	○	○	○	全国
成虫発生時期 (月)						
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12						
○ 食草		食樹	発生回数/年		越冬形態	
ハギほか (マメ科)			4		成虫	



川崎市 8月6日 (2011年) ハギで吸蜜



多摩川土手 (稲田堤) 7月3日 (2019年) 鮮烈な黄色



多摩川土手 (稲田堤) 9月22日 (2019年) メドハギに産卵する♀
紫花はアレチハナガサでメドハギではない

ハイムでもよく見かける黄色い蝶です。とまと必ず羽を閉じるので、裏よりも格段に美しくはっきりとした表羽の黄色は飛んでいるときにしか確認できないのは残念です。訪花するだけでなく、地面で吸水もしますがすぐに居るのがわかるほど目立つ蝶です。ほかに黄色い蝶としては、キタキチョウによく似たツマグロキチョウ (前羽が尖っているところが違いますが、急激に減少し周辺で見たことはありませんし県内からも消えたとの情報もあります)、また、このあたりでは見られませんが、山地性でキタキチョウより大型のヤマキチョウ、スジボンヤマキチョウがあげられます。



多摩川土手 (稲田堤) 9月12日 (2019年) 吸水



スジボンヤマキチョウ 長野県南佐久郡



多摩川土手（稲田堤） 7月3日（2019年） アレチハナガサに飛来



多摩川土手（稲田堤） 7月3日（2019年） アレチハナガサに飛来



多摩川土手（中野島） 11月3日（2021年）

← メドハギに羽化直前のキタキチョウの蛹

↓ 羽化が待ちきれないように蛹に♂（2頭いた）がまとわりつきだした。
これで蛹が♀だということが判明・・・



←中野島自宅

今にも羽化しそうな割にしななかったので、♂たちののしり声(?)を
あとに枝を折り取って家に持って帰り眺めていると羽化してくれた



川崎市 9月30日（2020年） 湿地のミゾソバで吸蜜する